

WordMiner「よくある質問」

1. 分析用のファイル作成時の問題

Q: WordMiner 用に作成したファイルが、WordMiner のインポート機能で正常に読み込めない。たとえば、データ表の行数や変数の数（項目数）などが、一致しないなど。

A: これは、いくつかの理由が考えられます。

理由 1 :

作成したファイルの形式が「テキスト・ファイル」となっていない。WordMiner は、エクセル・ファイルを読み込むことはできません。「テキスト・ファイル」のみが可能です。

理由 2 :

「テキスト・ファイル」には、用いられる区切り文字(delimiter)の違いにより、いくつかのフォーマット（記述形式）があります。

各項目単位の間をカンマで区切った「csv (Comma Separated Value)」、タブで区切った「タブ区切り」、そしてスペース（空白）で区切った「スペース区切り」です。

WordMiner は、「csv」と「タブ区切り」で作られたテキスト・ファイルを読み込むことができますが、「スペース区切り」のテキスト・ファイルは、読み込むことはできません。

<注釈：ファイル形式と拡張子について>

ファイル形式と区切り文字、拡張子などの関係は、以下ようになります。

拡張子とは、ファイルの種類を区別するために、ファイル名の後ろに付与される識別コード（識別子という）のことです。

ファイル形式	拡張子	区切り文字
テキスト（タブ区切り）	.txt	タブキー
CSV（カンマ区切り）	.csv	カンマ
テキスト（スペース区切り）	.prn	スペース

理由 3 :

特にご注意くださいことは、エクセルを用いて分析用のデータ・ファイルを作り、WordMiner 用として「csv」や「タブ区切り」のファイルとして、エクセルから保存（名前をつけて保存）した場合です。

1 レコード（1 件、1 人）内のカンマ数やタブ数が、各レコードによって一定の値にならない、という事象です。

これはエクセル機能の問題ですが、この現象を回避するために、WordMiner にインポートする前に、データ・ファイルの編集をしてください。

編集方法：

実際のデータセットでご説明いたします。

データセットを作成時に、最後の列（カラム）に何かの記号をすべてのレコードについてダミーとして入れます。例えば、「/」や「/」などを入れるとよいでしょう。一例を<表 1 >に示しました（このファイルの最後のページ）。なお、この列は WordMiner にとっては不要のため、WordMiner にインポートできた後は、変数一覧から削除することをお勧めいたします。

2. インストール時の問題

Q: インストール時、「ライセンスキー」の入力要求に対して、与えられたライセンスキーを入力しても「完了」ボタンが利用できない（クリックできる状態にならない）。

A: 利用しているコンピュータ（PC）のシステム（Windows）の環境設定を調べ、“日付の設定が正しいか”を確認してください。

日付の設定が間違っていたら、それを現在の日付に設定し直してから、再度インストールを試みてください。また、ライセンスキーの入力ミスがない再度確認してください。

Q: インストールの途中で、「パスが見つかりません」とエラーメッセージが表示される。

A: パッケージ添付の「インストール前に必ずお読み下さい」をご覧ください。この事象に対する対処策が記載されています。または、インストールガイドの「インストール時の問題と解決策」をご覧くださいのうえ、インストールをやり直してください。

3. 扱える文字について

Q: 日本語以外の文字は扱えるのか？

A: 「Shift-JIS コード」に対応する文字を分析対象としています。ただし、利用文字が、対応した「英文字」（26 文字に限定）で作成されたテキスト・ファイルは扱うことができます。

また、全角・半角の混用の場合、WordMiner で分かち書き処理したあとは、すべて“全角扱い”となります。英文字についても同様です。

なお、中国語、韓国語（ハングル）などの文字系は扱うことはできません。

ただし、言語固有のアクセント記号などを含む場合は、対応文字を通常の“(26 文字の範囲の) 英文字に変換すること”、“文字の置換を行うこと”で”解釈上不都合がなければ、変換処理後に取込可能です。

フランス語の場合：

i) アクサン (アクサン・テギュ、アクサン・グラヴ)、トレマなどはそれを除いた表記形式で入力してください。

例：e にアクサン・テギュ (´) / アクサン・グラヴ (`) があるとき → どちらも「e」に置換。

例：アクサン・シルコンフレクス (^) → (^) を除外した文字に置換。

例：トレマ → 例えば「ë」は「e」、「ü」は「u」に置換。

ii) セディーユは別の類似文字に置換してください。

例：セディーユ → それを別の対応文字に置換。(「c」とした例=francaise)

ドイツ語の場合：

例：ウムラウト → それを外した文字に置換。(「ë」は「e」、「ü」は「u」等)

例：エスツェット → 「ß」は「ss」に置換。

4. システム環境の問題

Q: 対応する OS (オペレーティング・システム) のバージョンは何か。

A: マイクロソフト社の Windows XP、Windows Vista、Windows 7、それぞれの 32bit 版に対応しています。また OS はなるべく最新の状態であることが望ましいです。

なお、64bit 版対応では動作は保証されていません。

Q: WindowsVista/Windows7 を使っているのに、インストールが正常にできない。

A: WordMiner の製品パッケージに添付の「インストール前に必ずお読み下さい」をご覧ください。または、インストールガイドの「インストール時の問題と解決策」にしたがって再度インストールを試みてください。

なお、旧バージョン (例：Version 1.14) は、Windows 7 では動作対象外ですので、インストール後、最新バージョンにアップデートしてください (下記の URL からフリーでご提供しています)。

http://www.jip.co.jp/products/common/wordminer/wordminer_download.html

5. 分析処理上での問題

Q: 「多次元データ解析」機能の実行時に、「・・・の生成に失敗しました」や「・・・の移動に失敗しました」と表示されることがある。

A: いくつかの原因が考えられます。以下に主な対応策を記述いたします。

対応策 1 :

① 自分が利用しているコンピュータに“常駐のアプリケーション・ソフト”を調べてください。特に「ウィルス対策ソフト (アンチウィルス・ソフト)」が設定され

ている場合、その常駐動作を“中断あるいは解除”させたいうえで、再度 WordMiner の「多次元データ解析」の実行を試みてください。

- ② これで、WordMiner が正常に動作した場合は、ウイルス監視ソフトの監視対象の一覧の中から、WordMiner や WordMiner で生成したプロジェクト・フォルダを除外するように設定してください。または、そのウイルス監視ソフトを一時的に利用停止状態にしてください。

(注釈)

ウイルス対策ソフトとは、例えば、Microsoft Security Essentials、ウイルスバスター、ノートン・アンチウイルス、カスペルスキー、マカフィー・ウイルススキャンなどです。監視対象から除外する方法については、それぞれの利用ソフトの説明・マニュアルをご参照してください。

対応策 2 :

- ① 通常、作成したフォルダは「階層構造」つまり入れ子構造（ネスト構造）になっています。この入れ子の深さが多段になるほど、フォルダ名やファイル名の確認パス（パス名）の長さは長くなります。Windows の場合、このパス名が長いとフォルダやファイルの認識ができなくなります。これが原因で、表記の警告メッセージが表示されることがあります。
- ② そこで、自分で作成した WordMiner のプロジェクト・フォルダを置いた（保存した）位置を確認します（フォルダの階層がどの程度の「入れ子の深さ」になっているか）。
- ③ 「プロジェクト名」として付けたフォルダ名称や、扱っているファイル名称が長くないかを確認します。
- ④ 以上を確認のうえ、パス名が長すぎるような場合は、フォルダ名やファイル名の名称を短くします。
- ⑤ なお、パス名の全体の長さは全角文字で 50 文字以内、半角で 100 文字以内にしてください。
 - ・ 半角 2 文字で全角 1 文字と換算して計算してください。
 - ・ 文字コード体系は、Shift-JIS コードのみです。

(注釈)

通常、作成したあるフォルダ A は別のあるフォルダ内 B に含まれ、さらにそのフォルダ B は別のフォルダ C に、…となる場合、互いに“包含関係”になっている。これをフォルダの「階層構造」といい「入れ子構造（ネスト構造）」が特徴です。

Windows ではこの階層の管理と、個々のフォルダやファイルに付与した名称（文字数）の長さが長すぎると、つまり“パス名が長くなる”と、処理ができない場合があります。

WordMiner の場合、作業中の処理ファイルの保存フォルダの階層が比較的深いこともあって（何層にもなる）、利用者がプロジェクト名やファイル名に長めの文字を付与すると、全体の作業時のパス名が長くなるという現象が生じます。これが、作業が実行できない、中断されるという現象となって現れます。

参考例 :

例1：この程度ならよさそうという例

プロジェクト名：ウェブ調査解析 1

フォルダ設定：デスクトップ上に上のフォルダを作る

ファイル名：ウェブ調査データ（その1）

例2：あまり好ましくない例

プロジェクト名：ウェブ調査の解析事例（多変量解析の実行）

フォルダ設定：フォルダ A 内にあるフォルダ B 内にこのプロジェクト名フォルダを作る。（別の何重かに入れ子となったフォルダ内にプロジェクト・フォルダを置く）

ファイル名：情報に関するアンケート（とくに電子書籍利用に関するウェブ調査）

<表1> データ表の例 注:ここでは列側の質問項目(変数側)の大半はカットしてある

SEQ_ID	Q1. インターネットのアクセス点 (自由回答)	Q2. インターネットのアクセス点 (自由回答)	Q3. 現在の生活満足度	Q4. 経済状況 余裕度	F1. 性別	F2. 年齢区分 (1)	F2. 年齢区分 (2)	F3. 未婚婚	F4. 最終学歴	F5. 職業	区切り 記号
2	調べたい事柄が、すぐに調べられる。また、海外へも、メールですぐに連絡がとれる。電話より安い。	不必要な情報を、判断力のない子ども達が得てしまう危険がある。	2. 一応満足している	2. やや余裕のある方だ	2. 女性	21. 女性 40歳～44歳	12. 女性 40～49歳	2. 結婚している	4. 短大卒 / 高等専門学校卒	04. 家業手伝い	/
3	情報がすぐに手に入る。世界が縮まる。	感情がなくなってしまう。	3. やや不満がある	4. やや余裕のない方だ	1. 男性	03. 男性 20～24歳	02. 男性 20～29歳	1. 未婚	5. 大学卒 / 大学院卒	02. 会社員, 公務員など	/
4	色々な情報を、得られる。	相手に情報を与えてしまいそう。	2. 一応満足している	3. どちらでもない	1. 男性	08. 男性 45歳～49歳	04. 男性 40～49歳	2. 結婚している	5. 大学卒 / 大学院卒	01. 事業主, 役員, 自由業, 専門職	/
5	真実の情報がリアルタイムに地域差が無く知ることができる。	情報量が多すぎて、真実を見極めるのに手間取る。	2. 一応満足している	2. やや余裕のある方だ	1. 男性	07. 男性 40歳～44歳	04. 男性 40～49歳	2. 結婚している	5. 大学卒 / 大学院卒	01. 事業主, 役員, 自由業, 専門職	/
8	メールは相手の時間や状況を気にせず、こちらの意思を手早く伝える事が出来る。郵便と異なり写真も簡単に(写真やさんで現像しなくても)送れる。インターネットはいろいろな物に自宅にいながら買い物をしたり、さまざまな情報を手でできる。	メールで気軽に会話していると、人と対面して話をする際の緊張感が薄れてしまう。人とのつながりが希薄になる。インターネットはいろいろな情報もたくさんあるので、本来に必要な情報を見極めることが大切だと思う。	2. 一応満足している	3. どちらでもない	2. 女性	19. 女性 30歳～34歳	11. 女性 30～39歳	2. 結婚している	5. 大学卒 / 大学院卒	07. 専業主婦	/
16	物事を広く知る事ができる。	人との接触が希薄になる。	2. 一応満足している	4. やや余裕のない方だ	2. 女性	25. 女性 60歳～64歳	14. 女性 60～69歳	3. 離婚または死別し、現在は独身	3. 高校卒	08. 無職	/
19	家に居ながら仕事、買い物ができる。知りたい情報がすぐに調べられる。	目に悪い。	2. 一応満足している	3. どちらでもない	2. 女性	17. 女性 20～24歳	10. 女性 20～29歳	1. 未婚	5. 大学卒 / 大学院卒	05. パート・アルバイト	/

<以下は省略>